

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	6401	学校名	華陽70717高等学校（定時制）
------	------	-----	------------------

学校教育目標 (教育方針)	<p>1 高校生としての基礎的・基本的な知識や技能と主体的に学習する意欲や態度を身に付けさせ、生徒一人一人の個性を伸ばし、心豊かでたくましく生きる力を育む。                  2 社会の規範を守る態度を養い、地域社会の一員としての自覚を高める。                  3 健康で安全な生活を送るため、基礎体力の向上を図り、健康な心身の保持増進に努める態度を育む。</p>	
3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的・基本的な知識や技能を身につけた生徒</li> <li>・ 主体的に学習する意欲や態度を身につけた生徒</li> <li>・ 心豊かでたくましく生きる力を身につけた生徒</li> </ul>
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「わかる喜び」の涵養（学びの「再チャレンジ」） ユニバーサルデザインを意識した授業／ICT機器の積極的な活用／半期ごとの単位認定</li> <li>・ キャリア教育の推進 「コミュニケーション能力」の向上／社会的、職業的自立の支援</li> <li>・ 「カウンセリングマインド」に基づく積極的傾聴（共感的理解・無条件の肯定的関心・自己一致）</li> </ul>
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自分の生き方」を真剣に考え、やると決めたことはあきらめない生徒</li> <li>・ 「なりたい自分」を見つけたいと願っている生徒</li> <li>・ 自分にも、周りにも、優しい言葉をかけてあげられる生徒</li> </ul>
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会自立に必要な基礎学力を定着させるため、学力向上に接続できるような授業展開の検討と実践。</li> <li>・ SSTで身に付けた力を授業において効果的に活用し、社会的に自立するためのスキルの獲得を目指す方法の検討と実践。</li> <li>・ 入学時から卒業後を見据えた進路意識を涵養するため、地域創生キャリアプランナーやハローワークジョブサポーター、キャリアパスポートを活用しながら、自己の将来像を描くためのキャリアカウンセリングを実施し、自己肯定感と社会に貢献する意欲を醸成。</li> <li>・ 様々な問題を抱えた生徒に対する個に応じた指導の充実。</li> <li>・ 高校生としての基本的な規律の習得や、社会の一員としての規範意識の向上。</li> </ul>	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の在り方生き方を自ら考える力を育成し、良好な人間関係を構築。</li> <li>・ 興味・関心を高める授業改善の実践、分かる授業の推進、基礎学力の定着。</li> </ul>
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が社会的・職業的に自立できるようマナーと基礎的な能力の涵養。</li> <li>・ 自己の在り方生き方やライフプランを見つめ、主体的に進路選択ができるキャリア教育の実施と豊富な進路情報の配信の推進。</li> </ul>
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンセリングマインドの活用と、個に応じた生徒理解の推進。</li> <li>・ 問題行動要因をアセスメントにより可視化し、認知改善の実施による問題行動の予防推進。</li> <li>・ 社会の一員としての自主的・実践的な態度の育成。</li> </ul>
	教員研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的な公開授業・研究授業の実施・参観の推進と、教師としての資質や能力及び指導力の向上を目指し研鑽する機会の充実。</li> <li>・ 校内研修の組織的な運営による研修内容の精選と、活発な意見交換や情報交換を行うことにより生徒の支援に活かす研修の実践。</li> </ul>

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興基本計画で の位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	授業中における、SSTを導入した聞く・話す・協力するスキルの獲得を検証します。	1	施策Ⅰ-1	授業アンケートの自己評価の向上、スキル獲得の肯定的回答が75%以上であったか。			
	生徒の個々の課題を把握し、SSTを取り入れた社会自立につながる実践的な学習指導をします。	8	施策Ⅱ-8	授業アンケートや教育相談を通して個々の課題を確認し、支援に努めたか。			
	基礎的・基本的な内容の定着を目指し、ICT機器を活用した柔軟な学びのシステムを取り入れ、まとめと振り返りにより定着させます。	9	施策Ⅱ-9	授業アンケートにおける興味・関心に関する肯定的評価が、70%以上であったか。			
	UDを取り入れた授業、ICT環境の利活用を促進し、充実感や達成感の得られる授業展開をします。また、教員間の公開授業の実施と公開授業の参観率の向上をします。	23	施策Ⅳ-23	ICT機器やタブレット、各種アプリを効果的に利用したか。職員の公開授業率、参観率が高まったか。			
進路指導	コミュニケーション能力の向上を図り、社会的・職業的自立を支援します。	1	施策Ⅰ-1	面接や履歴書指導など、生徒一人一人に応じた指導ができたか。			
	SSTを用いて年次毎に必要な、コミュニケーション能力、自己形成や、社会的自立など様々な場面を想定したシミュレーションを行います。	8	施策Ⅱ-8	ソーシャルスキルトレーニング(SST)を計画的に実施できたか。			
	長期的なライフプランや、堅実な職業観の形成を育成し、社会的・職業的自立を支援します。	12	施策Ⅱ-12	卒業時における進路未決定の生徒を25%未満に減らせたか。			
	様々なキャリア教育関連行事を開催し、豊富な進路情報を配信します。	13	施策Ⅱ-13	キャリア教育活動としての充実した進路行事を実施できたか。「学校評価アンケート」における進路指導関連項目において、肯定的評価が70%以上であったか。			
生徒指導	カウンセリングマインドを柱に生徒との信頼関係を築きます。	4	施策Ⅰ-4	新入生の長欠者を25%未満に減少できたか。			
	規範意識を向上させ、問題行動の未然予防・再発を図ります。	1	施策Ⅰ-1	問題行動の再発をゼロにすることができたか。			
	MSリーダーズを中心としたボランティア活動への積極的な参加を勧め、生徒の自己肯定感の向上を目指します。	3	施策Ⅰ-3	MSリーダーズ活動が年間2回以上実施できたか。			
	生徒一人一人に応じた教育相談体制の充実を図ります。	2	施策Ⅰ-2	「学校評価アンケート」の肯定的評価が、生徒60%、保護者70%以上であったか。			
教員研修	公開授業・研究授業の実施・参観期間を設け、積極的な授業研究と参観を促します。	23	施策Ⅳ-23	公開授業の参観率が80%以上であったか。			
	外部講師による、生徒支援、進路支援または学習指導に関する研修を実施します。	26	施策Ⅳ-26	研修参加率が80%以上であったか。			
	活発な意見交換および情報交換を目的とした、希望者参加型の校内研修を定期的に開催し、教員間で連携して指導力向上を目指す機会を充実させます。	20	施策Ⅳ-20	研修後アンケートで肯定的意見、満足度を調査し、年度末に生徒支援・学習指導に活かされたか。			
	優れた取り組みを行っている教員が講師を務め、実践に基づいた研修を実施します。	26	施策Ⅳ-26	研修後アンケートで肯定的意見、満足度を調査し、年度末に生徒支援・学習指導に活かされたか。			